

研究費総額の見直しについて（案）

平成29年8月31日
革新的研究開発推進プログラム担当室

プログラム・マネージャー (PM)	研究開発プログラムの主な見直し内容	上段：研究費総額の見直し内容
		下段：研究費総額の変更額（百万円）
白坂 成功PM 「オンデマンド即時観測が可能な小型合成開口レーダ衛星システム」	災害対応利用においては、オンデマンド即時観測に加え、 <u>新たに平常時のコンステレーションによる常時観測を行うことにより</u> 、高価値な情報を社会に提供可能なシステムを構築することを志向する。また、商用ビジネスを通じて <u>多数機コンステレーションの実現に取り組むことにより</u> 、 <u>衛星の量産体制の構築を目指し、一機辺りの衛星コストを大幅に抑制する</u> 。この結果、 <u>オンデマンド用の衛星コストも抑えられ、政府・自治体利用向けの官による配備を促進する</u> 。	・軽量化： <u>衛星重量100Kg以下</u> をめざし、高密度収納アンテナ・大電力マイクロ波増幅器等の <u>更なる軽量化</u> を実施。 ・高度自律化：衛星多数機の同時運用を低労力で可能にする <u>AI等を活用した衛星の高度自律化</u> を実施。 ・衛星の維持コストの低減： <u>衛星部品の量産化及びデータ処理の自動化による衛星の長寿命化</u> を実施。
		1,500→1,990（490増額）